

令和8年度第1回ふなばし市民大学校運営協議会会議録

(令和8年9月28日作成)

1 開催日時

令和8年8月17日(月) 午後2時00分～午後3時00分

2 開催場所

ふなばし市民大学校 7階 第2教室

3 出席者

(1) 委員

高山委員(会長)、長澤委員(副会長)、村尾委員、岡委員、川田委員、横山委員、
豊田委員、安原委員

(2) 事務局

社会教育課長、社会教育課主査、社会教育課主任主事

(3) その他

ふなばし市民大学校事務局(公益財団法人船橋市公園協会)

事業部参与、市民大学校事業課長、市民大学校事業課嘱託職員2名、市民大学校
事業課準職員3名

4 欠席者 山本委員

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 委員の退任に伴う副会長の選任について 公開

(2) 令和7年度修了生及び令和8年度入学生について 公開

(3) 特別講座「パラレルキャリアコース」の実施について 公開

(4) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について 公開

(5) 空調設備等改修工事に伴うふなばし市民大学校の代替施設への移転について 公開

(6) その他 公開

6 傍聴者数 0人

7 決定事項

(1) 委員の退任に伴い副会長を選出し、長澤委員に決定した。

(2) 令和7年度修了生及び令和8年度入学生について、質疑応答及び意見聴取を行っ
た。

(3) 特別講座「パラレルキャリアコース」の実施について、質疑応答及び意見聴取を行
った。

- (4) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (5) 空調設備等改修工事に伴うふなばし市民大学校の代替施設への移転について、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 その他

次回は、令和8年10月から11月頃に開催予定です。開催場所等は、後日お知らせします。

9 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 庶務施設係
047-436-2892

午後 2 時 0 0 分開会

○高山会長

それでは、ただいまより令和 8 年度第 1 回ふなばし市民大学校運営協議会を開会いたします。

まず、本日の出席状況について、事務局からご報告をお願いいたします。

○事務局（社会教育課主査）

本日の出席状況を報告いたします。本日は、ふなばし市民大学校運営協議会委員 9 名に対し、8 名の出席をいただいております。なお、山本委員におかれましては、所用のため欠席される旨の連絡をいただいておりますので、報告いたします。

以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

次に、会議の公開及び傍聴について、事務局からご報告願います。

○事務局（社会教育課主査）

会議の公開について報告いたします。附属機関及びこれに準ずるものの会議は、船橋市情報公開条例第 26 条の規定に基づき原則公開することとなっております。本会議もこれに基づき原則公開となります。また、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱に基づき、会議終了後おおむね 1 週間以内に会議概要を公表し、その後、個々の委員の発言内容を含めまして審議経過等が明確となるように会議録を作成し、委員名簿も含めて市のホームページで公表いたします。そのため、本日は会議を録音させていただきますことをご了承ください。

続きまして、傍聴について報告いたします。受付をいたしました但、本日、傍聴希望はございませんでした。

以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

それでは、議事に移ります。本日の会議の議題は、お手元に配付した次第のとおり、議題 1「委員の退任に伴う副会長の選任について」、議題 2「令和 7 年度修了生及び令和 8 年度入学生について」、議題 3「特別講座『パラレルキャリアコース』の実施について」、議題 4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について」、議題 5「空調設備等改修工事に伴うふなばし市民大学校の代替施設への移転について」、議題 6「その他」とし、この順で進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高山会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。

議題 1「委員の退任に伴う副会長の選任について」、ふなばし市民大学校運営協議会要綱の第 5 条第 2 項に「会長及び副会長は委員の互選により選出する」となってお

ります。つきましては、副会長選出を行いたいと思います。どなたかご推薦をお願いいたします。

村尾委員。

○村尾委員

ふなばし市民大学校いきいき学部の修了生であり、船橋市いきいき同窓会からご推薦をいただいております長澤委員を推薦したいと思いますが、いかがでございましょうか。

○高山会長

ただいま村尾委員から長澤委員に副会長をお願いしてはとのご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高山会長

それでは、長澤委員、よろしいでしょうか。

(長澤委員 了承)

○高山会長

それでは、長澤委員は副会長席に移動をお願いいたします。

(長澤委員、副会長席へ移動)

○高山会長

早速ですけれども、長澤副会長から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

○長澤副会長

ただいま副会長にご推挙いただきました長澤純子でございます。皆様からのご信任をいただきまして光栄には存じますが、とても責任の重さを感じております。よろしくお願いいたします。

私は9年前に市民大学校を修了いたしまして、それ以来、いきいき同窓会というところに所属しておりまして、地域の中で本当に充実した毎日を過ごさせていただいております。市民大学校が地域とつながりのある学びの場であると同時に、生涯いきいきと活躍するためのすばらしい拠点になっているということを身をもって体感いたしておりますので、このすばらしさを修了生として、また一市民として、より多くの方に伝えられたらと思っています。市民大学で学んでよかった、修了後もつながれる仲間がいっぱいできたというところを感じていただけるように、市民大学校の魅力ある運営に少しでも寄与できたらと思っています。

まだとてもふつつかでございますので何ができるか分かりませんが、一生懸命頑張りたいと思いますので、何とぞ皆様のご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

前の石川会長に頑張ってきてくださいとは言われたのですが、何を頑張ったらいいかまだ分からない状態でございますけれども、よろしくお願いいたします。(拍手)

○高山会長

ありがとうございました。それでは、議題1を終了いたします。

続きまして、議題2「令和7年度修了生及び令和8年度入学生について」の議事に

入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課長）

議題2につきましてご説明させていただきます。令和7年度修了生及び令和8年度入学生についてご報告いたします。

まず、令和7年度の修了生について、資料1-1「令和7年度ふなばし市民大学校在籍者数」をご覧ください。令和7年度の修了者数について、在籍者数の（d）の欄をご覧ください。令和8年3月8日に勤労市民センターで修了式を行い、まちづくり学部81名、いきいき学部208名の合計289名が修了いたしました。入学者数が301名でございまして、在籍率（修了率）としては96％となっております。退学者数は12名、年度を通していらっしゃいました。前回までの運営協議会でご報告はしておりますが、令和7年度はパソコン学科2の出願数が15名に満たなかったため休講となっておりますので、表中ではハイフンの表記になっています。

以上が7年度修了者数のご報告でございます。

続きまして、資料1-2、資料1-3は、令和7年度末に実施しましたアンケートの集計結果でございます。資料1-2がまちづくり学部、資料1-3がいきいき学部となっております。各学部についてご説明いたします。

まず、資料1-2からご説明いたします。

まちづくり学部の学生へのアンケートの結果となっております。設問では、「学んだことをどのように活かしていきたいか」、「学習内容への評価」、「授業料について」、「修了後の活動予定」、「入学当初の目標の達成状況」などについてお伺いしております。

各学科の最後の設問に、例えば資料1-2の4ページ目等にありますように「ふなばし市民大学校入学当初の期待や目標は、1年間の講義や活動を通して達成されましたか」ということで、まちづくり学部の各4学科に同じ質問をしております。無回答だった方を除き、「十分に達成し、満足している」と、「ほぼ達成し、まあまあ満足している」と回答した人の合計は、ボランティア養成学科は4ページの下のほうにございますが、18人中17人で約95%、続いて、スポーツコミュニケーション学科は6ページにございますが、8人中7人ということで約88%、生涯学習コーディネーター養成学科は10ページにございますが、14人中12人で約86%、ふなばしマイスター学科は13ページにございますが、28人中25人ということで約89%となっております。まちづくり学部全体の満足度を見ると、68人中61人で割合は89.7%の方が、「満足」、「ほぼ満足」というお答えをいただいております。

次に、資料の1-3をご覧ください。こちらはいきいき学部の学生へのアンケート結果となります。

1ページ目の設問、「いきいき学部では、学生生活を通じて、生きがいくつくりや仲間づくりを目的としています。生きがいくつくりや仲間づくりはできましたか」という問いに対する各学科の満足度はグラフのとおりとなります。各学科とも「ほぼ達成し、まあまあ満足している」と回答された方が、割合としては一番多くなっております。また、「十分達成し、満足している」または「ほぼ達成し、まあまあ満足している」と

回答している方の合計が80%に達しているのは、こころとからだの健康学科1、こころとからだの健康学科2、パソコン学科1とパソコン学科3、園芸学科2、園芸学科1では100%が満足しているということでお答えをいただいております。達していないのは、くらしの教養学科1で約61%、また、同じくくらしの教養学科2で約67%、パソコン学科4が約71%ということでございます。全体のグラフとしてはお示ししておりませんが、いきいき学部全体の満足度を見ますと、「十分に達成し、満足している」と「ほぼ達成し、まあまあ満足している」と回答した人の合計は、無回答だった人を除き、135人中116人となり、割合は85.9%となっております。

続いて、5ページでございます。5ページの設問、「授業内容はわかりやすかったですか」という問いに対しては、ほとんどの方が「十分理解し、満足している」、「ほぼ理解し、まあまあ満足している」と回答をいただいておりますので、授業の難易度の設定は適切だったのではないかと考えております。

なお、本アンケートは、受講生に対しまして毎年度1月下旬にお配りしまして、毎年度学科の最終授業までの提出をお願いしております。回収率につきましては、一昨年の令和6年度は60.2%、332人中200人、昨年度、令和7年度は70.9%、289人中205人となりまして、回収率が低いクラスがございますので、そちらについては授業終了後に記入する時間を設けるなどして、アンケート回収率の向上に努めたいと考えております。

以上で令和7年度修了生についてのご説明は終わります。

続いて、資料の1－4でございます。令和8年度の入学生についてご報告いたします。資料1－4「令和8年度ふなばし市民大学校在籍者数」、左下の日付が令和8年7月1日現在をご覧ください。入学者数は、まちづくり学部で112人、いきいき学部で276人、合計で388人となりました。令和7年度の入学者数が301人でしたので、比べますと全体で87人の増加となりました。前回の運営協議会でもご報告しておりますが、前年度比でおよそ1.3倍の増員となっております。令和8年7月1日現在の数字ですが、退学者が8人出ておりますので、在籍者数は380人となっております。

続いて、資料1－5に入っております。資料1－5は、学科・クラスごとの入学者の最年少、最年長、平均年齢、年代分布を示した表となります。例年、比較的平均年齢の低い、上から2番目のスポーツコミュニケーション学科の平均年齢が64.6歳、昨年度は59.2歳でございましたので、60歳代以上の方が多構成となっております。一番右下の「割合」というところでございますが、入学者合計から見た割合は、60歳以上の方が87.9%、65歳以上の方になりますと76.8%、70歳以上の方が57.7%ということになっております。全体での平均年齢は70.1歳と昨年度と比べると若干高くなっております。令和7年度は69.8歳でございました。

続いて、資料1－6は、学部ごとの年代分布の割合をグラフにしたものでございます。学部を比較すると、まちづくり学部の方が40歳代から60歳代の構成割合が59%と大きくなっております。70歳以上の構成割合は、まちづくり学部の方が41.

1%、いきいき学部のほうが64.4%となっております。

以上、議題2の「令和7年度修了生及び令和8年度入学生について」、報告は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。ただいまの議題2「令和7年度修了生及び令和8年度入学生について」、質問等がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは、議題2を終了いたします。

続きまして、議題3「特別講座パラレルキャリアコースの実施について」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課長）

議題3「特別講座パラレルキャリアコースの実施について」ということで、資料2-1をご覧ください。

本年度の前期特別講座「働き方は一つじゃない パラレルキャリアコース」につきましては、昨年度同様に働いている世代の方でも参加しやすいように、年間通しての授業ではなく全5回程度のコンパクトな内容とし、平日夜間の時間帯で開催すること、交通の利便性を考え、津田沼駅など大きな駅の近くでの開催をいたします。

講座の内容については、本日お配りしました資料2-2のチラシをご覧ください。パラレルキャリアを研究されている大学教授や副業を実践されている方の話を聞きながら、参加者同士のグループワークを通じて、ご自身のキャリア形成に向けた新たな一歩を踏み出すきっかけとなることを目指しております。期間は9月2日から10月7日までの全5回、9月23日の祝日は除きまして、毎週水曜日の午後7時30分から9時まで、東部公民館の第5・6集会室で開催いたします。

このコースの目的、内容、実施方法について説明させていただきます。本業と並行して別のキャリアを築くことを支援することを目的としており、これにより個人のスキルや経験を多様化させ、より柔軟で充実したキャリアを実現することを目指します。「働き方はひとつじゃない パラレルキャリアコース」の資料2-1の表で説明いたします。

1日目、立川智也氏。受講ガイダンス・グループワーク。コースコーディネーターでございまして、この方のファシリテーションにて参加者全員のキャリアの問題意識の共有を図ります。

2日目、石山恒貴氏。法政大学教授による講義「パラレルキャリアを始めよう」にて、会社勤めなどの本業をしっかりと持ちながら社会活動を行う新しい生き方と仕組みを学んでまいります。

3日目、中山由起子氏。2024年度のパラレルキャリアコースの受講生でございました。講義「パラレルキャリアの始め方（元受講生の立場から）」として、本講義の有効な活用法を講師自身の実体験を通して学びます。

4日目、諏訪康雄氏。法政大学名誉教授の方による講義で、「キャリアの自律とキャリア権」として、個人が豊かにキャリアを形成するためのキャリア権について学んで

いく一日でございます。

最後の5日目は、また初日の立川智也氏で、コースコーディネーターによる「講座の振り返りと共有のグループワーク」にて、参加者全員の具体的なキャリアへの取組を考えます。

以上が5日間の内容でございます。どなたでも受講することができますが、特にキャリアの多様化に興味がある方や、現在の職業に加えて新しい挑戦をしたい方に適していると考えております。主な受講生層としては、本業以外の領域にもキャリアの幅を広げていきたいと考えている20代から60代の現役で就労している方々を想定しております。働いている世代の方など、ふなばし市民大学校とはふだんあまり関わりがないような方にも参加してもらいたいと思っておりますが、興味がある方であれば、どなたでもご参加いただけるようにしたいと考えておりまして、市内在住や年齢等の制限は設けずに開催することとしております。

7月15日から受付を開始し、7月15日号の広報ふなばし、船橋市のホームページ、公共施設等でのチラシ配布、SNSでの発信、船橋市の公式X、ふなばし情報メール、市公式アプリ「スマートライフパス」といったもので周知を行いました。また、デジタルサイネージ、船橋駅前歩道橋、イオンモール船橋で周知を行いました。

申込み方法はオンラインとなっております、昨日の8月16日が締切でございました。8月16日時点で42名のお申込みをいただきまして、定員の35名を超えたため抽選を行っております。

また、昨年度同様、今年度の1月、2月におきましても、特別講座「大人のための大学活用コース」を実施する予定でございます。こちらは、大学での学び直しを検討されている、働きながら大学に通う、退職後に大学生になるといったことに興味を持っている社会人や中高年層を対象に、生涯学習の観点から、現代における学び直しの価値、仕事や家庭と学業の両立方法など幅広い情報を提供し、実際に大学進学を果たした社会人の体験談なども紹介しながら、参加者が自分らしい学びの形を描くきっかけとなる内容となっております。

議題3につきましての説明は以上でございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題3「特別講座『パラレルキャリアコース』の実施について」、質問等がありましたらお願いいたします。

定員35名でもう既に42名って、すばらしいですね。

○事務局（市民大学校事業課長）

大変ありがたいことではございまして、4年目になる事業でございますけれども、事業開始以来、ここまでの応募は初めてでございます。

○高山会長

それに、24年度の修了生から講師になっていただけるなんて、なかなかすばらしいことですよね。

○事務局（市民大学校事業課長）

はい。様々なスキルを持った方がお集まりになるので、その中で講師としてお願いできる方も現れることもあるということです。

○高山会長

何か聞きたいことはありますか。特段よろしいですか。

それでは、議題3を終了いたします。

続きまして、議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について」の議事に入ります。事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課準職員）

議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について」、ご報告いたします。
資料3-1「市民スマホコンシェルジュ養成講座」のチラシをご覧ください。

本講座では、インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用して、恩恵を得られる人とうまく利用できないために恩恵が得られない人との間に生じる格差、いわゆるデジタルデバイドを地域課題の一つと捉え、スマートフォンの活用について教えられる人材を育て、地域での学び合いによってデジタルデバイドを解決することを目的に開催いたします。今年度で5年目の実施となります。

講座の内容については、スマートフォン等の操作に関する指導方法を中心に、5日間、1日4時間学び、最終日は筆記・対面テストを行います。講座修了後は、社会教育課が所管している生涯学習サポート事業への登録や公民館で開催しているデジタルデバイド対策講座でのボランティアなど、それぞれのお住まいの地域でスマートフォンの操作に悩みがある人をサポートするなど、活動していただきます。実施期間は10月2日から30日の毎週金曜日、各日13時から17時まで、ふなばし市民大学校6階の第1教室で開催します。

9月1日号の「広報ふなばし」で受講者の募集記事を掲載するほか、公民館等にもチラシを配布し、9月1日から15日まで募集を行う予定です。受講料は無料で、定員は20名です。申し込み方法はチラシに記載されている2次元コードからオンラインでの申し込みとなります。

説明は以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施」につきまして、質問等はございますか。

特段よろしいですか。それでは、議題4を終了いたします。

続きまして、議題5「空調設備等改修工事に伴うふなばし市民大学校の代替施設への移転について」の議事に入ります。社会教育課からの説明をお願いいたします。

○事務局（社会教育課長）

社会教育課でございます。

ふなばし市民大学校を含む総合教育センターの空調設備等の改修工事がございます。これに伴う、ふなばし市民大学校の代替施設への移転についてご説明させていただきます。

まず、この総合教育センターは、昭和62年にできたもので、40年近くたっているところです。最近トイレなどの工事で、ご迷惑をかけましたが、今はもう使えるようになり、きれいなトイレになったところです。

今度は、換気設備やLED照明の工事で、天井を剥がすなど、大掛かりな工事を、令和10年度と11年度に予定しております。令和9年度までは、市民大学校は総合教育センターを使用しますが、令和10年度と11年度については、総合教育センターは使用できません。

しかしながら、ふなばし市民大学校については、継続して事業を実施することが重要と考えておりますので、令和10年度と11年度は、どこか代替施設で引き続き事業を実施することを検討しているところです。まだ場所は決まっていないのですが、通学しやすいようなところなどを考慮しながら検討を進めています。

ただし、移転に関して懸念される点がございます。まずは、総合教育センターはかなり施設が広いですが、代替施設の規模によっては、一時的に定員数を少なくするか、定員などを変更する可能性がございます。

次に、パソコン学科の授業は、インターネットの環境について、こころとからだの健康学科の陶芸の授業は、陶芸窯について、懸念しているところですが、可能な限り授業に影響が出ないよう、事務局において検討しているところです。

今のところ、はっきり申せませんが、移転の進捗状況につきまして、随時報告させていただきますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題について、この際聞いておきたいことがあったらお願いします。

○岡委員

場所によっては定員を減らしたりするということですか。

○事務局（社会教育課長）

総合教育センターと同じ広さの施設が見つければ、減らすつもりはありませんが、少し狭いけれども、立地が良いとか、そういう場合には、定員を減らすこともあると考えています。

○岡委員

定員数を変えるとか、そういうことはないんですか。

○事務局（社会教育課長）

2年間、休校することは避けたいので、何とか代替施設を探し、継続して実施することが非常に大事なことと思っています。今、いろいろな施設を探していますが、立地が良くて、2年間使わせてもらえる施設がなかなか見つかりません。代替施設により、教室が狭くなった場合には、定員を減らすということも考えているところです。

○岡委員

科目を削るとか、そういうこともあるわけですか。

○事務局（社会教育課長）

パソコンは何かしたいなと思っていますが、もし、パソコンの設備が整っていな

い施設の場合、パソコン科目を削ることも。あと、陶芸の窯を持っている施設はなかなかないので、陶芸については、どこまでやれるか分からないですが、例えば、科目としてあるけれども、焼くところまでは違うところをお願いするとか。

○事務局（社会教育課主査）

現在使用している規模の窯がある施設がなかなかなく、公民館にある窯もあまり大きくはなく、結構使用されているというお話を聞いているので、例えば場所を移して陶芸の授業はその場所でこねて、焼くのは他でお願いして、完成したものをお届けするとか、今の状態と同じようにはなかなか難しいのですが、なるべく今の状態を維持した形で2年間授業を行い、最終的に総合教育センターに戻ってくるということを想定して準備をしています。

定員につきましても、基本的には同じ定員でと思っているのですが、4月から3月までずっと借りるということになると、スポット的に借りるなら何とかできるのですが、広さも十分あってというところを借りることがなかなか難しいような状況です。ずっと借りられて、ある程度の定員数を確保できて、場所も通うのが大変ですと通学について心配される方も多いので、なるべく便利なところでいくつか条件を絞って探しております。

そうすると定員が今よりは少なくなるとか、陶芸の授業の数を多少変えるとか、授業数自体を減らす予定はないのですが、代替の授業でということも考えて、何とか今の形を維持しつつというようなことを検討している最中です。

○高山会長

通学がしやすく、ある程度の人数を確保する場所ってなかなか難しいですね。

○事務局（社会教育課主査）

はい。1か月だけとか1回だけとかだったらいいのですが、継続的に借りるところがなかなか難しい状況です。

○高山会長

例えば公民館を分散して、5館、6館を1教室、2年間だけ借りることはできないのですか。

○事務局（社会教育課主査）

そうすると、授業で場所が変わってしまうということに対して、同じ場所のほうがいいのではないかというような意見があります。

○高山会長

そうではなくて、その学科は同じ公民館、違う学科は別の公民館という形ではいかがですか。

○事務局（社会教育課主査）

公民館にも相談をいろいろしているところではあるのですが、中央公民館が閉まっていたり、他の公民館でも通学しやすいところは利用率自体が高くてなかなか空きがなかったりという状況です。ほかの施設が閉まっている時期と重なっているので、民間を含めて探して、授業への影響が少ないところに移転できればというように考えております。

○事務局（社会教育課長）

昭和62年という時期は、船橋市の施設がたくさんつくられていて、今位が改修の時期になっていると思います。公民館も26館ありますが、5館が今のタイミングで改修をしています。公共建築物保全計画というのがあり、それに基づき計画的に改修しています。本日、いろいろなアドバイスをいただきましたが、市としては、なるべく一つの施設で、今とあまり変わらない状況で実施できるところを探しております。まだ来年度まで時間がありますので、市としても一生懸命探しているところなので、またご報告させていただきたいと思います。

○高山会長

ほかによろしいですか。

それでは、議題5を終了いたします。

続きまして、議題6「その他」について、何か事務局からありますでしょうか。

○事務局（社会教育課主査）

本日は特にはございません。

○高山会長

以上で本日予定された議題は全て終了しましたけれども、今回の全ての議事を通じて何か質問等がございますか。

○岡委員

パラレルキャリアコースは、40名ぐらいの応募があつて、男女比というのはどれぐらいなんですか。

○事務局（市民大学校事業課長）

性別は伺っておりませんが、おおむね男性が4割弱程度、女性が6割強程度です。まだ抽選前の数字ですけれども、年代は40代、50代の方が64%を占めております。よろしいでしょうか。

○岡委員

はい、ありがとうございます。

○高山会長

ほかはよろしいですか。

それでは、これをもちまして質疑を終了いたします。

本日の議事は全て終了いたしました。本日の議事録の署名は岡委員にお願いいたします。

以上をもちまして、令和8年度第1回ふなばし市民大学校運営協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午後3時閉会